

# 授産製品＋県立大生アイデア

## ニット小物を共同製作



清水区の施設と連携

### あす大学祭で販売

県立大（静岡市駿河区谷田）のボランティアクラブ「こんぺいとう」が近くの授産施設「NPO法人ニット工房ライク」（清水区草薙、増田升美理事長）と連携し、ニットのオリジナルグッズを完成させた。29日に同大で開かれる「剣祭」で学生が販売する。

共同製作したニット製品を袋に詰める県立大の学生とニット工房ライクの利用者—静岡市清水区草薙

クマをモチーフにしたニット製のUSBメモリー入れ



ライクは、知的障害者と精神障害者16人がニットのセーターや帽子、小物などを製作し、大手通信販売会社からも仕事を受注している。県立大の職員が「質の高い商品をもっと地域にPRできた」と大学とライクによ

る新製品の共同製作を提案した。

職員の提案に賛同した「こんぺいとう」の学生が、大学生活で必需品の

USBメモリーを入れるケースの製作を企画。かわいらしいクマをモチーフに、ストラップを取り

付けたデザインも手掛けた。製作を受け持ったライクの利用者は編み機を使

って、青や茶、ピンクなど7色の綿糸製のケースを織り上げた。

学生とライク利用者は26日、同施設で完成品の袋詰め作業を行った。「こ

んぺいとう」部長の杉浦翠さん（20）＝看護学部2年＝は「イメージ通りの

商品に仕上げてもらい、うれしい。たくさんの人に手に取ってもらいた

い」と声を弾ませた。売り上げは、材料費と一部の技術料を除き、利用者の

工賃になる。

県立大はライクとの交流を拡大させていく方針。同施設が11月15日に

清水区のJR草薙駅近く

にオープンする弁当店「カレー工房ライク」でも、食品栄養科学部の教員がレシピを提供する。

剣祭は29日午前9時半から。USBメモリーケースは1個850円。100個限定で販売する。